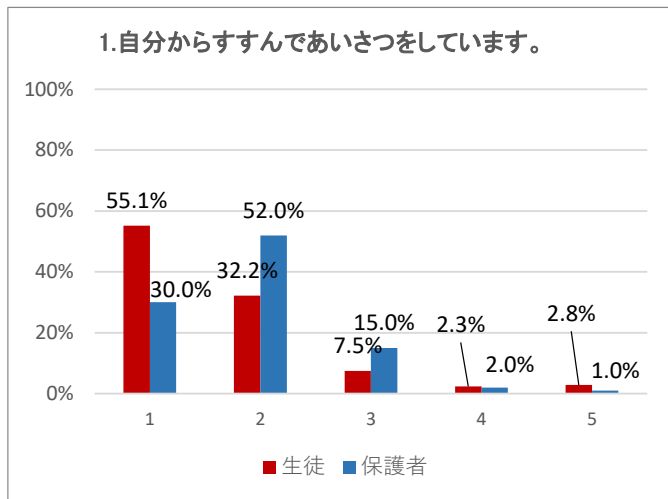


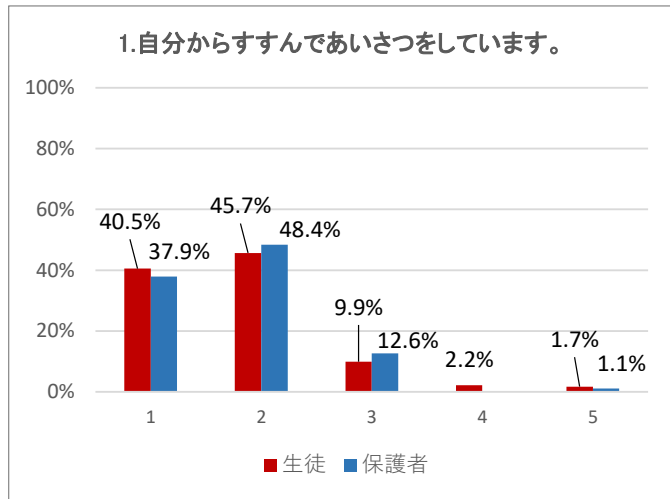
令和6年度 北九州市立横代中学校 学校評価まとめ

1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない 5.分からない

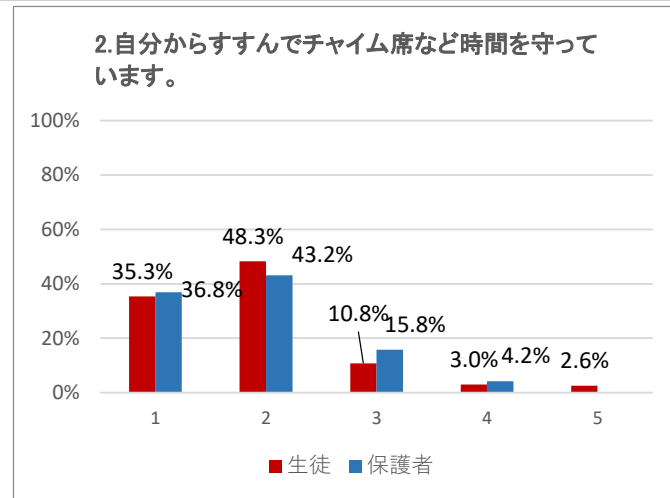
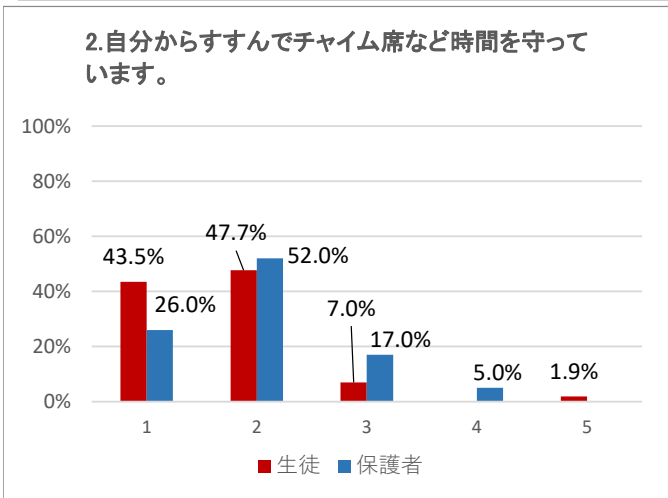
1学期



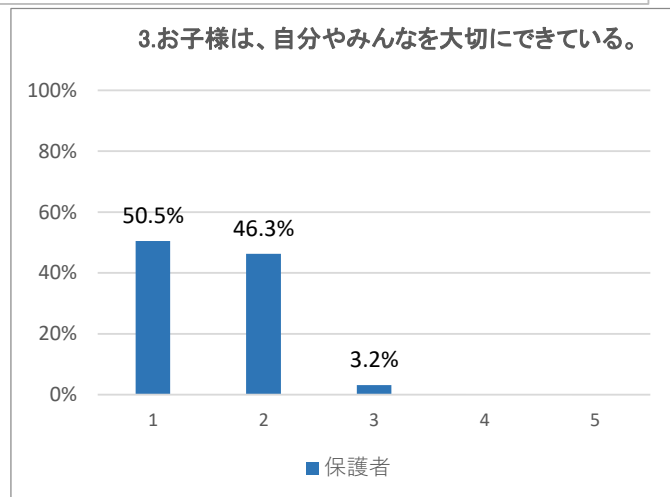
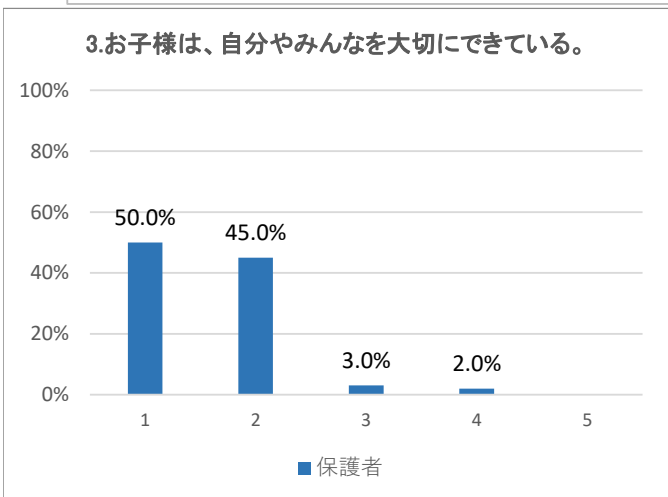
2学期



1, 2学期ともに、8割の生徒が肯定的回答をおこなっており、保護者も肯定的回答をおこなっている。
自ら挨拶を行う習慣化が身についたといえる。



1, 2学期ともに8割程の生徒が肯定的回答をおこなっており、保護者も肯定的な回答をしていることから、「きまりを守ることが当たり前」という雰囲気が強いいい影響を与えている。

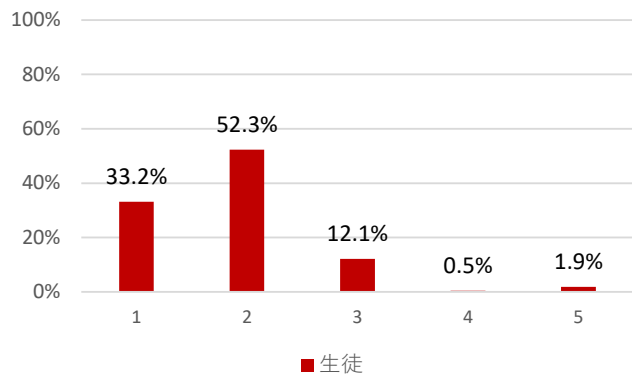


9割の保護者が肯定的回答していることから、教職員の心の育ちを意識した指導の継続が大切である。

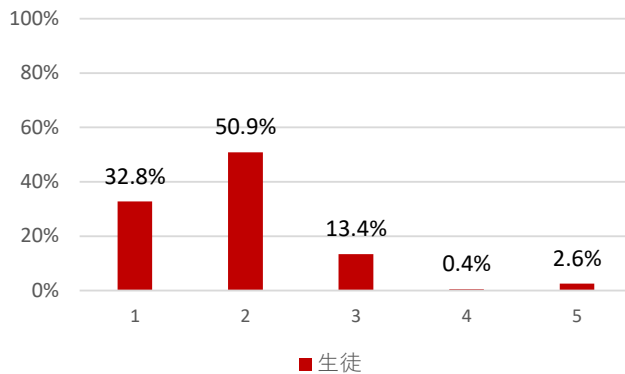
1学期

2学期

4.授業中、先生の話をしっかり聞くことができます。

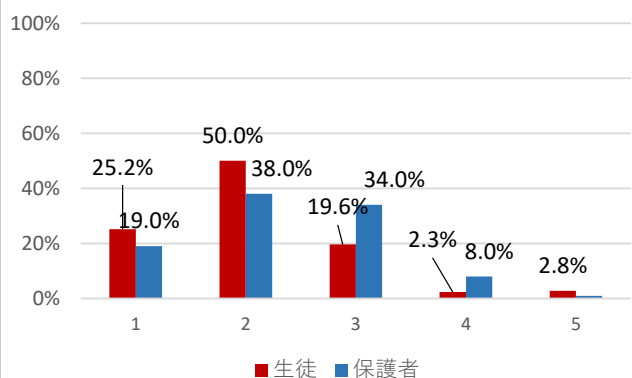


4.授業中、先生の話をしっかり聞くことができます。

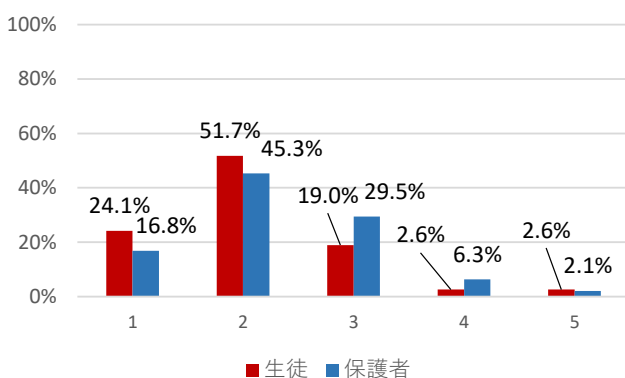


1、2学期共に8割が肯定的回答をしていることから、比較的落ち着いた学習環境で学んでいるといえる。

5.授業の始めに、学習の準備ができ、授業中は正しい姿勢で学習出来ています。

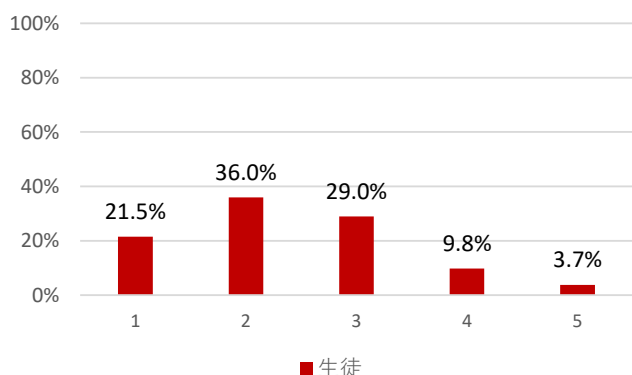


5.授業の始めに、学習の準備ができ、授業中は正しい姿勢で学習出来ています。

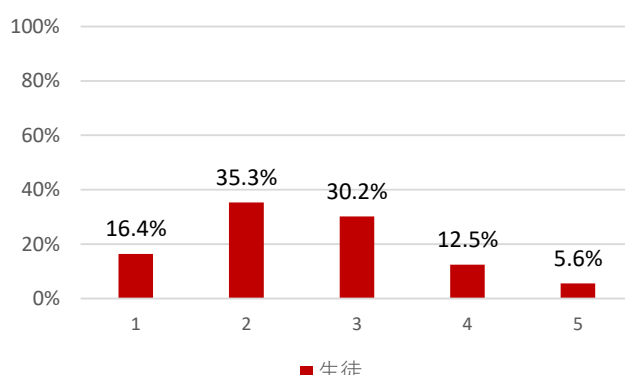


1、2学期ともに、7割の生徒が「準備が出来ている」と回答していることから、比較的学習環境が整っているといえる。

6.自分には、基礎基本の学習が身についていると思います。



6.自分には、基礎基本の学習が身についていると思います。



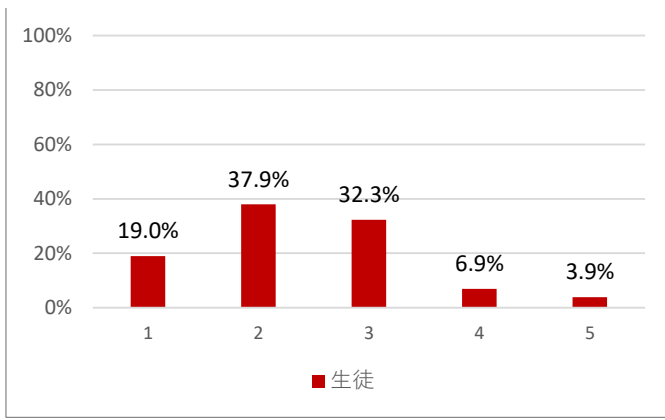
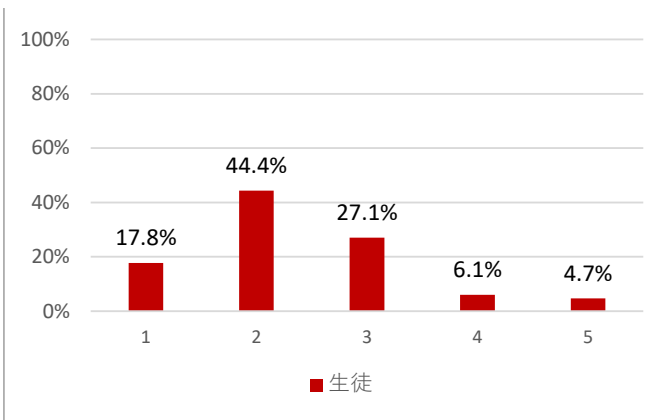
「基礎基本の学習が身についている」と回答をした生徒が5割にとどまっていることから、放課後教室だけでなく、今年度からひまわり教室を開設しており、より多くの生徒が基礎基本の学習を学べる場をつくる必要性がある。

1学期

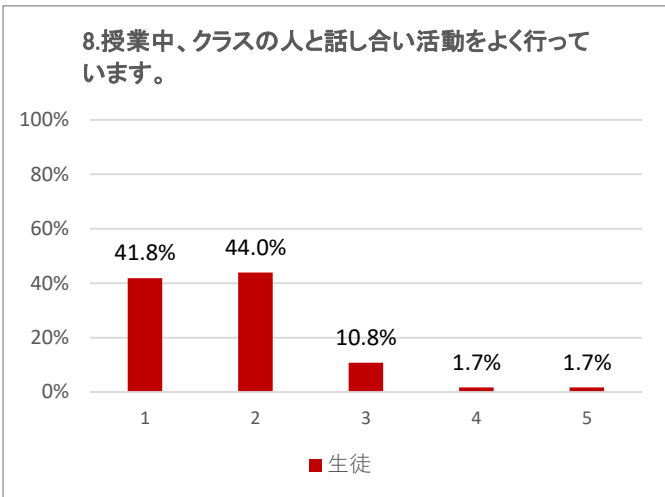
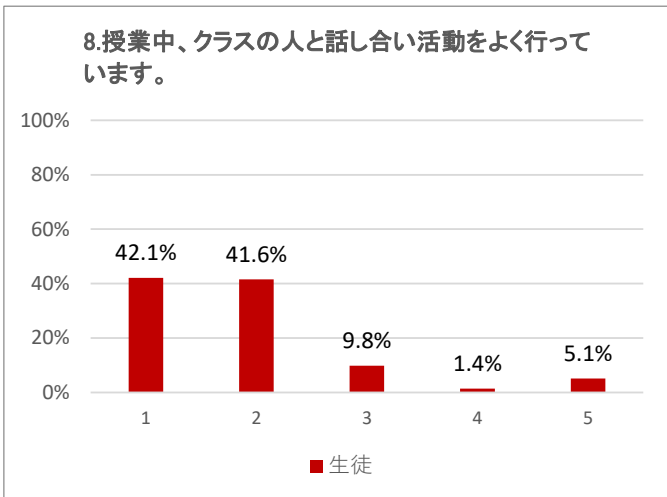
2学期

7.授業の課題解決に向けて自ら考え、意欲的に取り組んでいます。

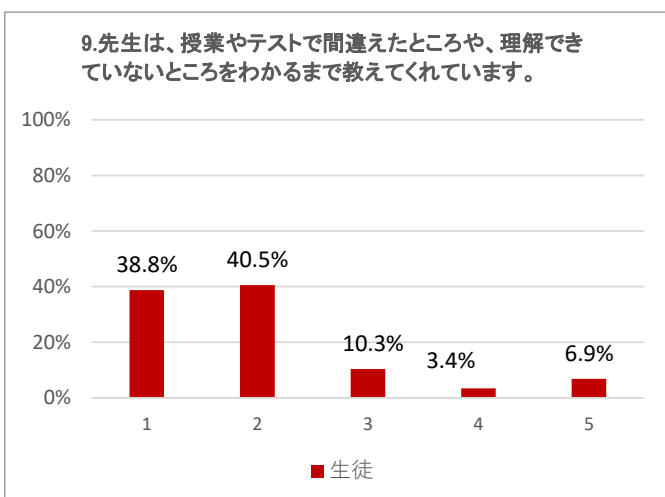
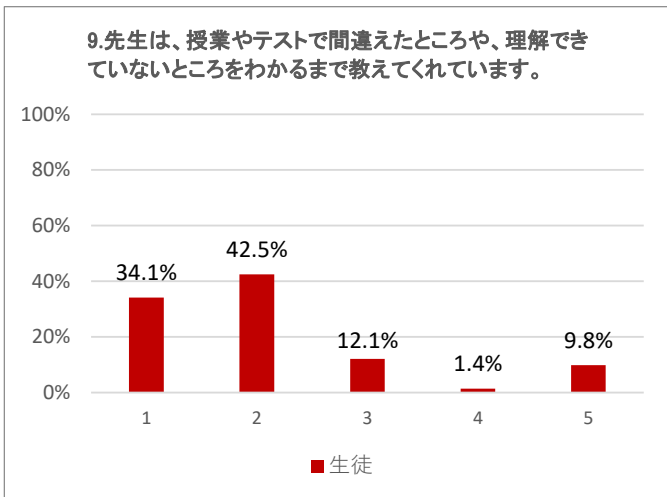
7.授業の課題解決に向けて自ら考え、意欲的に取り組んでいます。



生徒の回答では、5～6割が肯定的な回答であり、意欲的に学習に取り組むために、学習の基礎基本を身につけさせる教科指導が必要である。



8割の生徒が肯定的回答をしている。教科で「話し合い活動」をおこなっている結果であり、対話的で深い学びが行われているといえる。

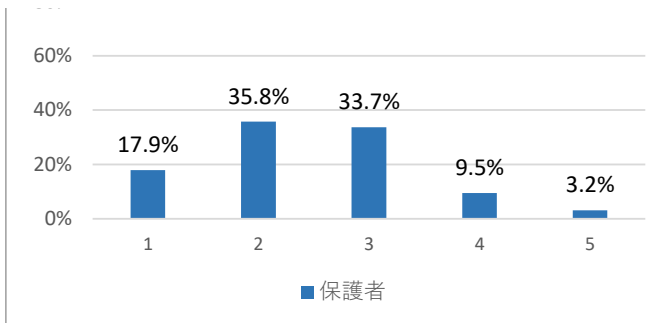
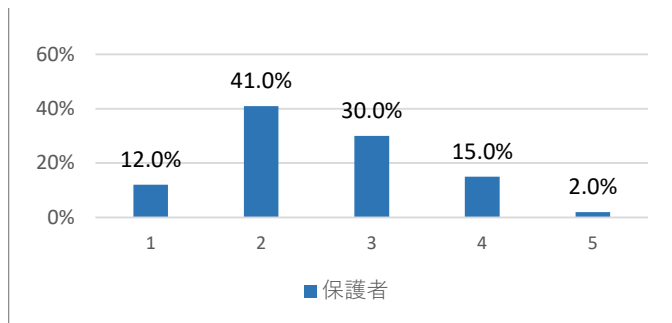


この取組は、学力向上の大きな柱である。肯定的回答した生徒は7割近くである。教師による生徒一人ひとりに寄り添った指導が行われている結果といえる。

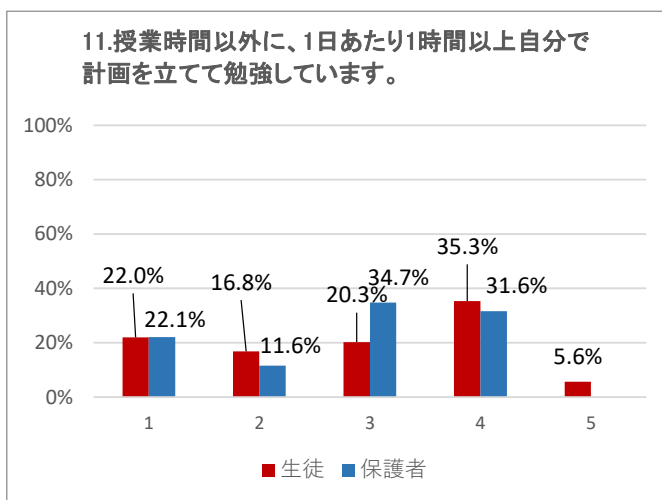
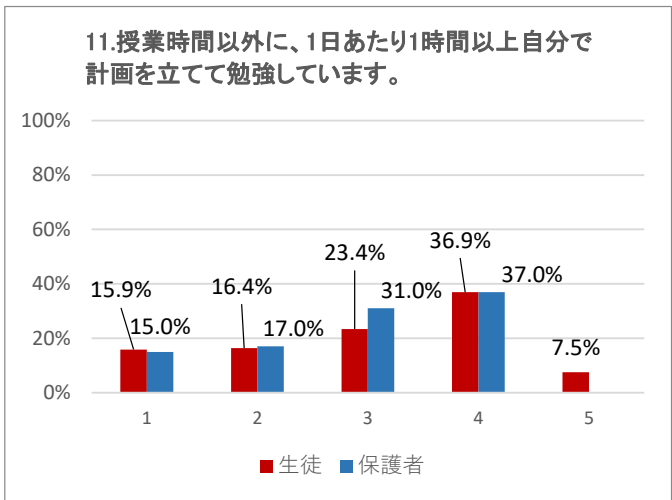
1学期

2学期

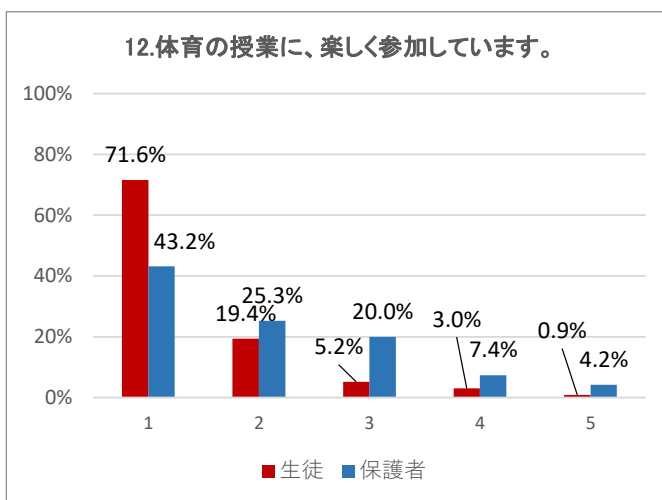
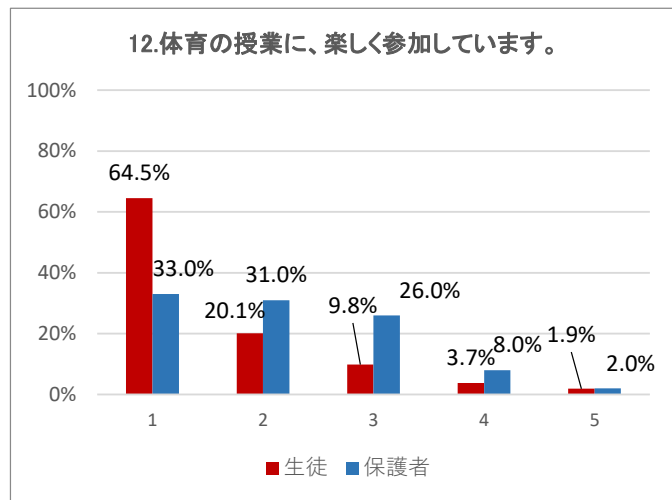




肯定的回答が5割と低く、自分で計画をたてて勉強に取り組んでいないことから、教師側による定期考査等での計画表作りの働きかけと、しっかり確認する必要がある。



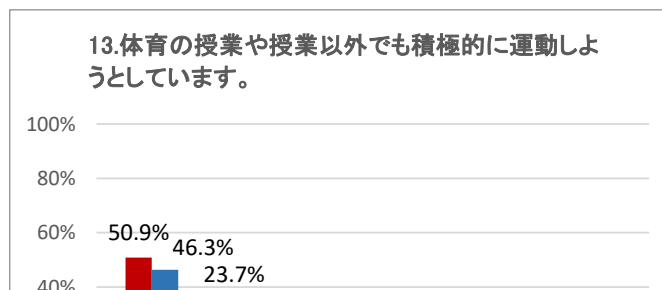
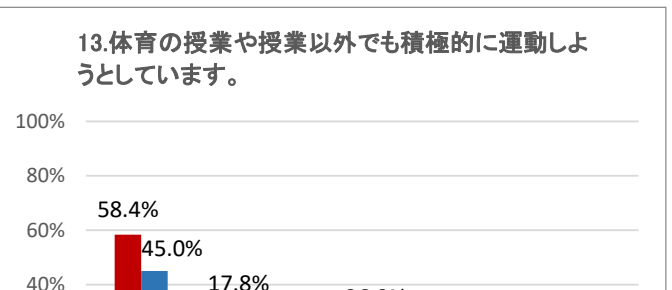
1時間以上勉強している生徒が5割と低いため、計画をきちんとたて、継続的に勉強することが学力向上につながることを指導する必要がある。

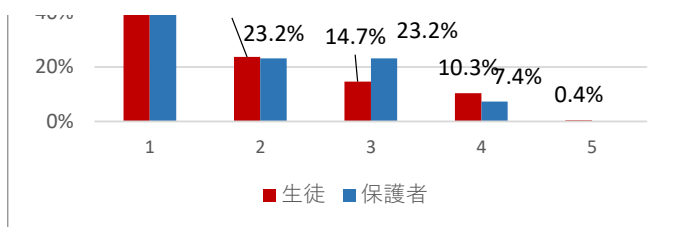
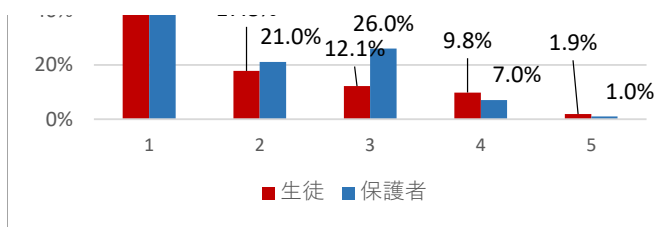


8割の生徒は肯定的回答をしている。体育が好きな生徒が多いといえる。

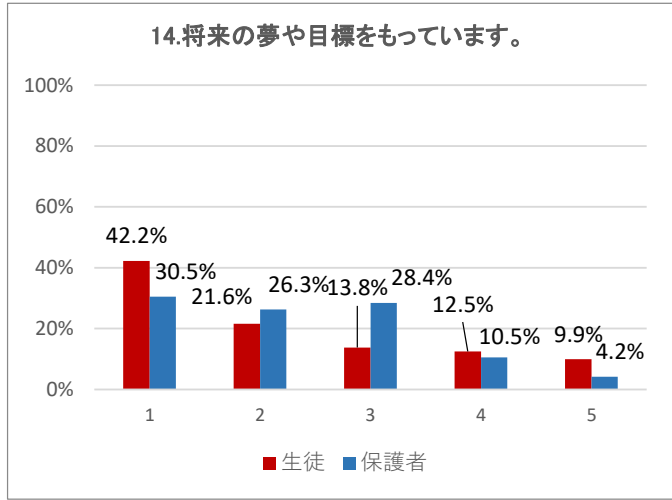
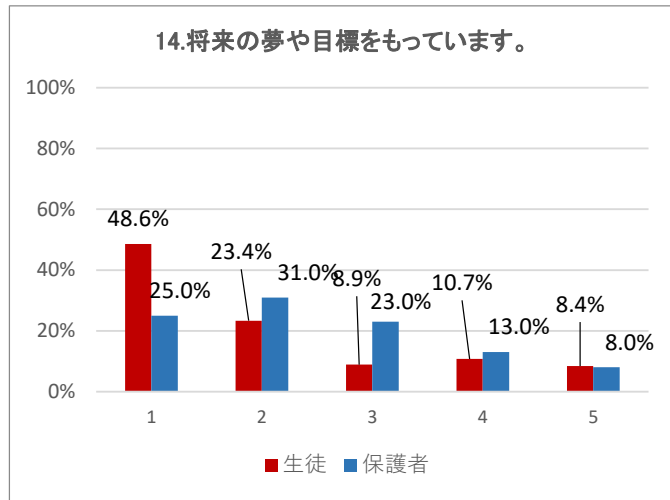
1学期

2学期

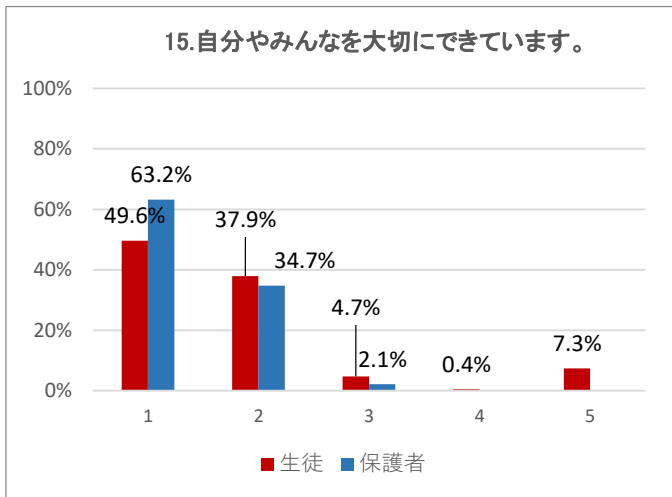
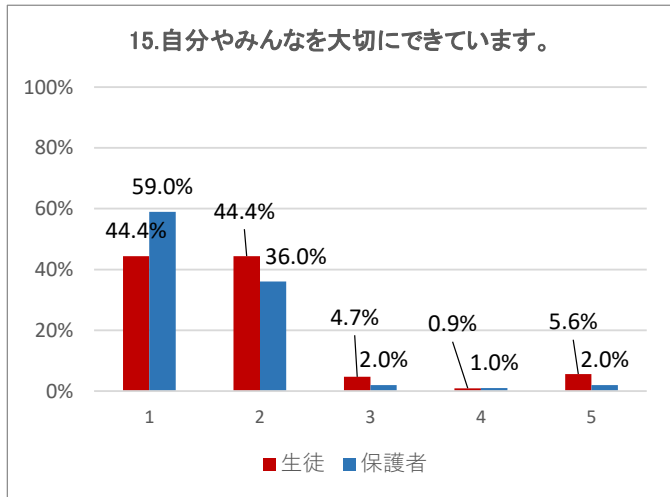




7割の生徒は肯定的回答をしている。比較的運動をする生徒が多いといえる。

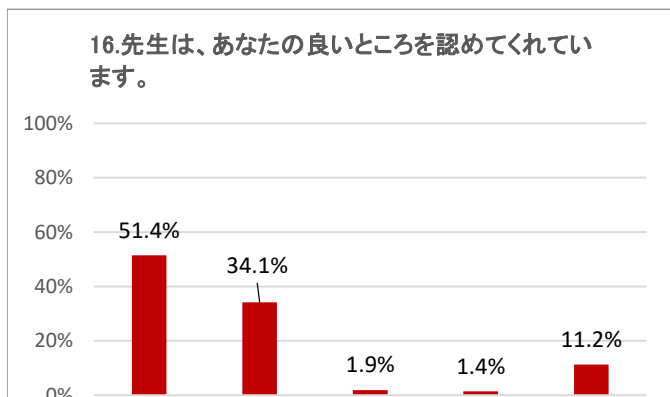


将来の夢や目標をもっていると回答した生徒が7～6割であり、進路指導、総合学習等で夢や目標もたせるような生徒への声かけや対応の丁寧さが、生徒の割合を伸ばす要因となる。

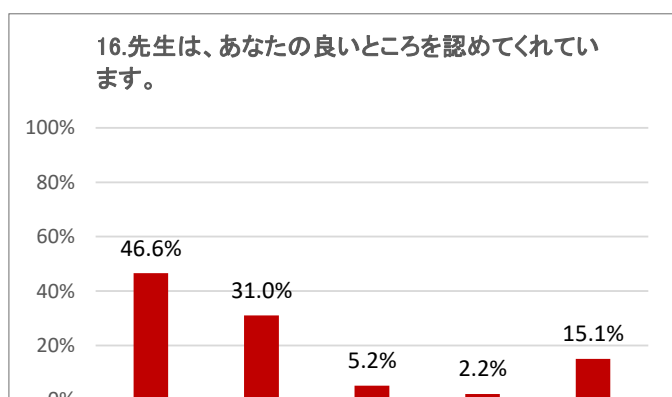


肯定的回答をしている生徒は8割、保護者は9割で、保護者と教師側が連携を図り、生徒の良さを引き出す声かけだけでなく、道徳や教育相談等での指導・助言等が割合を伸ばしているといえる。

1学期

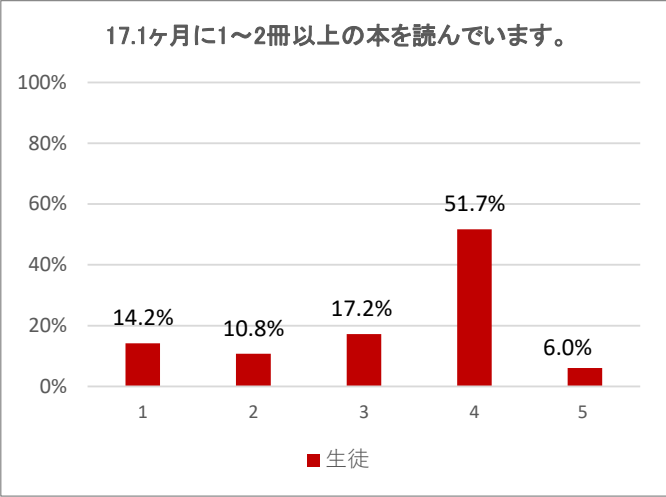
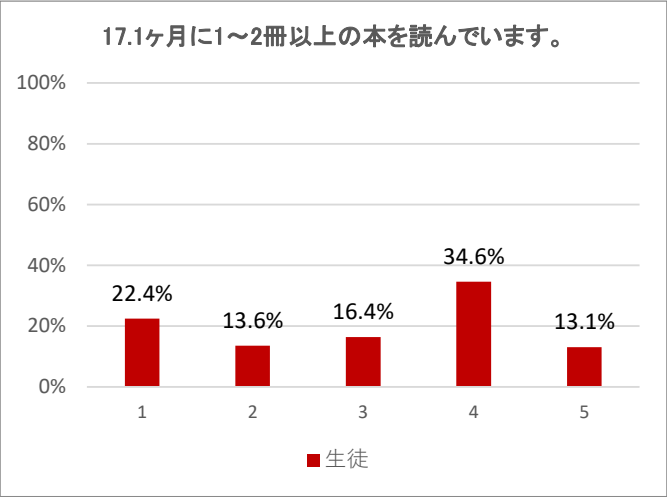


2学期

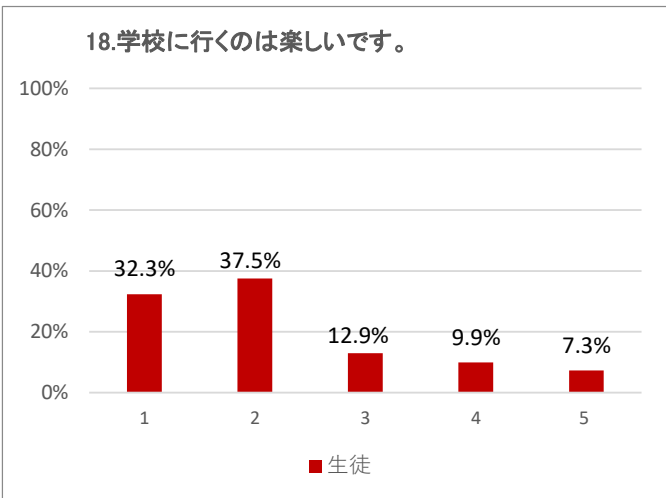
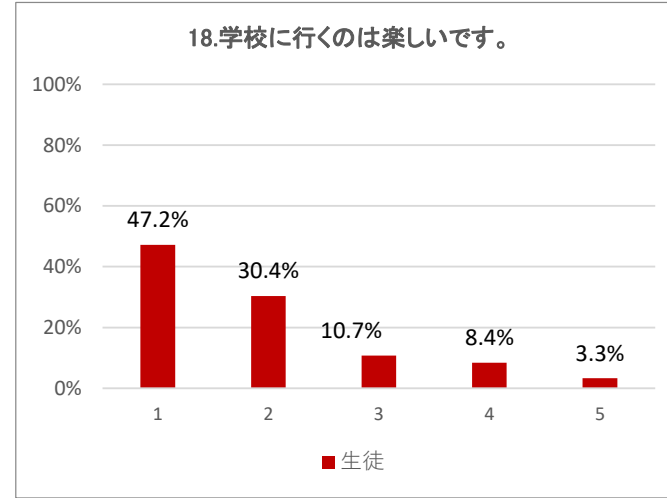




8～7割の生徒が肯定的回答をしており、普段から生徒と教職員の信頼関係が築けているといえる。

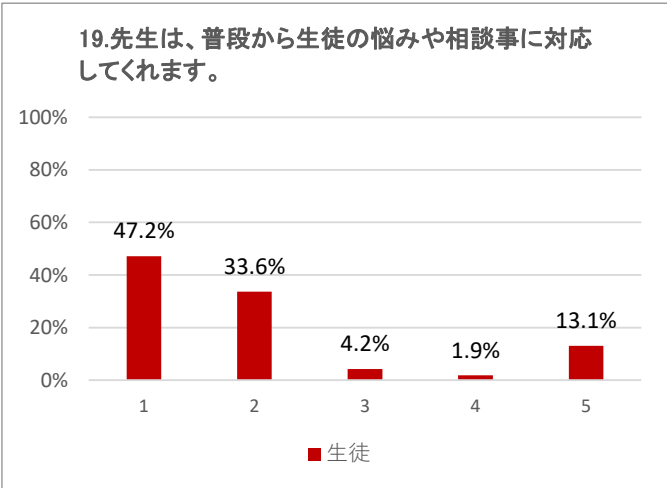


「1ヶ月に1～2冊以上の本を読む」とい回答した生徒が2～3割で低く、日頃から読書に親しむために、委員会等で読書の取り組みを働きかける必要がある。

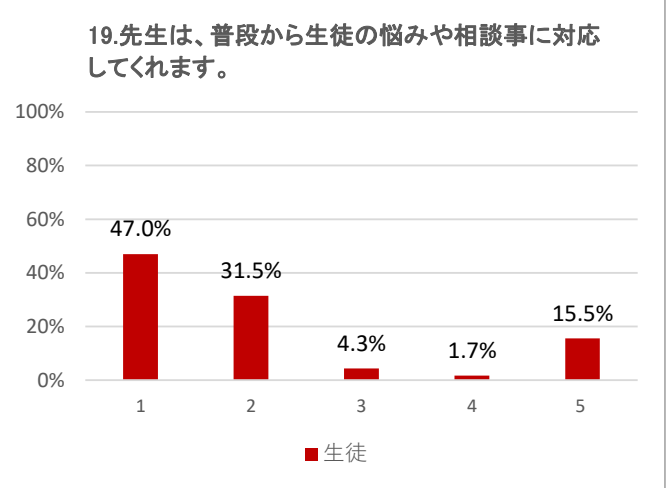


6～7割の生徒は肯定的回答をしている。普段から生徒と教職員との信頼関係が築けているといえる。

1学期

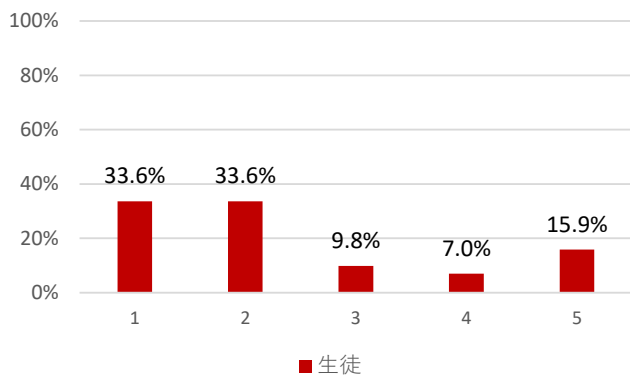


2学期

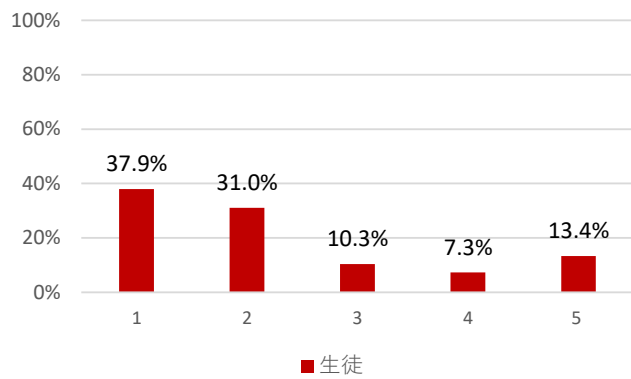


7～8割の生徒は肯定的回答をしている。普段から教職員が生徒の様子をよく観察しており、必要に応じて

20.小中の交流は、中学校での生活や学習に対する不安を和らげることに役立ったと思います。

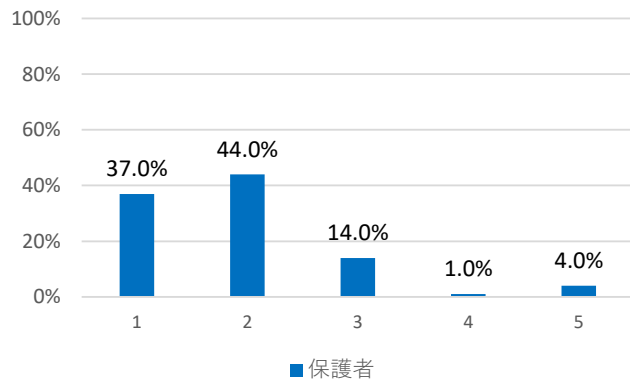


20.小中の交流は、中学校での生活や学習に対する不安を和らげることに役立ったと思います。

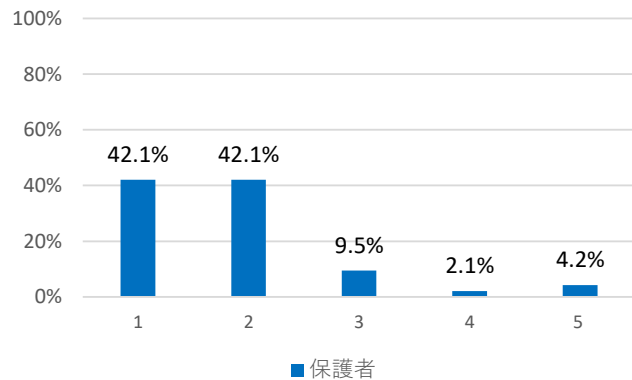


6割の生徒が小中の交流について肯定的回答をしているが、9年間の小中一貫教育の中で、さらに交流を深める機会を設けることが必要である。

21.先生は、学級通信や家庭連絡、一斉メール、HPなどを通して、保護者との連絡を密にとっている。



21.先生は、学級通信や家庭連絡、一斉メール、HPなどを通して、保護者との連絡を密にとっている。



8割の保護者は肯定的回答をしていることから、教職員が保護者との良い関係性を築けているといえる。